

令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和 6 年 12 月
海老名市立有馬小学校

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

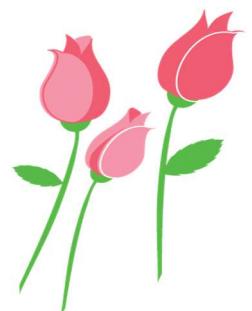
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 自分の考えが伝わるような表現の工夫として、話し言葉と書き言葉の違いに気付き、相手に伝わりやすい話し方を選択肢の中から適切に選ぶことができます。
- 目的や意図に応じて、集めた情報をどのように整理しているかを読み取り、伝える内容を検討することができます。
- 情報の関連付けの仕方や、図などによる関係の表し方を選択肢の中から適切に選ぶことができます。

◆課題のある点

- 学年別配当表に記されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
- 問題後半の無回答率が高く、記述に時間がかかってしまい、問題を最後まで取り組むことに困難が見られます。
- 物語を読んで、人物像や物語像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに困難が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 漢字の指導では、実際の文章や例文を用いて、実用的な理解が深まるよう指導していきます。
- 物語文を読む際には、登場人物の気持ちに深く入り込むために、感情や動機を具体的に考えられるよう指導していきます。
- 適切な文章を書くために、正しい語彙や文法を使うことの重要性を強調し、具体的な表現方法を踏まえて指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、求め方と答えを式や言葉を用いて考えることができます。
- 直方体の見取り図について理解し、作図ができます。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できます。

◆課題のある点

- 文章題の言葉から「少ない」＝「引き算」と考え、立式している可能性があります。題意や図から読み取る状況把握に困難さが見られます。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて速さの意味について理解するのに困難さが見られます。
- 課題に対して、示された条件を最後まで読み取り、必要な情報を得て、それを活用するための情報の取捨選択に困難さが見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 単元の学習時だけでなく、意図的にその他の単元の授業やモジュール授業などで、文章題などの復習に取り組み、文章題の問題形式に慣れる活動を取り入れて指導していきます。
- 技能面の習熟を図りつつ、様々な問題形式を学習する授業展開を目指して指導していきます。
- 問題に取り組む際に、解答への見通しをもって取り組むことができるように指導していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 多くの児童がタブレット等の ICT 機器を活用し、友だちと協力しながら学習を進めることができている。また、ICT 機器を使用しながら学習することを楽しく感じている児童が多くいます。
- 道徳の授業では、話し合い活動を通して自分の考えを深めていると回答した児童が約98%います。また、他の学習も含め、自分の考えを発表する時に、自分の考えがうまく伝わるように工夫をして発表している児童が多くいます。
- 総合的な学習の時間やそれ以外の学習で、課題解決に向けて、自分で学び方や解決方法を考え、工夫しながら自分から取り組んでいる児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の問題では、解答を文章で書く問題について特に時間がかかる傾向にあり、解答時間が十分ではないと感じていた児童が6割強いました。
- 算数の学習は好き、算数の授業はよく分かると回答する児童は多くいますが、算数の問題についても解答するのに時間を要する傾向にあり、解答時間が十分ではないと感じている児童がいました。

生活について

◆本校のよかったところ

- 将来の夢や目標をもっている児童、学校に行くことが楽しいと回答している児童が多くいます。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちを感じている児童の割合がとても高いです。
- 健康に過ごすために、学んだことを普段の生活に生かしている児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの扱いについて、家の人と約束したことを守っている児童が多くいますが、テレビゲーム等をする1日当たりの時間が多い傾向にあります。
- 学校生活をよりよくするための話し合い活動では、自分と違う意見について考えることに楽しさを感じていますが、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていくと回答した児童の割合は低めでした。

今後の具体的な取組について

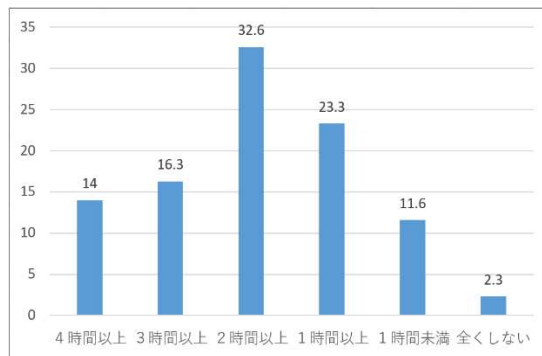
- 文章を読み、自分の意見をまとめて作文する力を継続的につけていくために、本や新聞を読むことへの興味を高め、読書量を増やすような取組や、学習の中で、児童がお互いに自分の考えのまとめ方や記述の仕方について高め合えるような取組をしていきます。
- 実生活の様々な場面において、必要なデータを分析し、課題解決に向けて様々な解決方法が考えられるように、今後も児童の実態を踏まえ、段階的に指導に取り組んでいきます。また、算数の基礎的な計算力の育成にも取り組んでいきます。
- 学習や学校生活において、児童の意見のよさをお互いに生かし、協働的に学び問題解決できるように、教科横断的な学習や学校行事等への取組を大切にしていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 テレビゲーム等の時間や約束を確認しましょう。

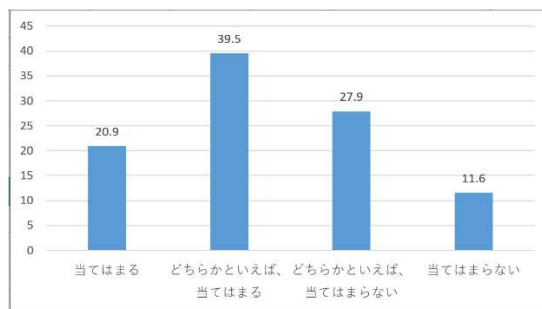
テレビゲーム等に多くの時間を費やすことで健康面の様々な問題につながりやすく、また SNS 等の絡みから防犯・安全の点でも心配なことがでてきます。お子様とテレビゲーム等の時間や約束についてご確認をお願いします。



普段1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム等をしますか。

2 これからも夢や目標をもって取り組めるようにしましょう。

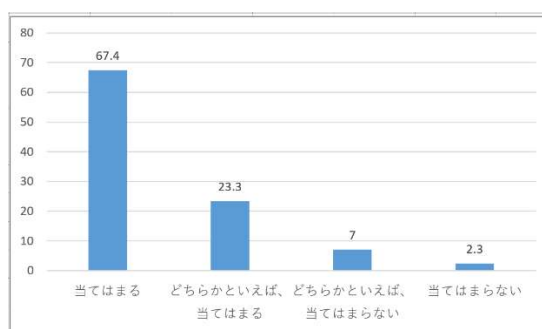
子どもが将来の夢や目標をもち、頑張ろうとする姿勢は素晴らしいことです。これからも子どもたちの自己実現に向けての努力を認め、よりよいサポートをお願いします。



将来の夢や目標をもっていますか。

3 これからも自分で学び方を考える姿勢を大切にしましょう。

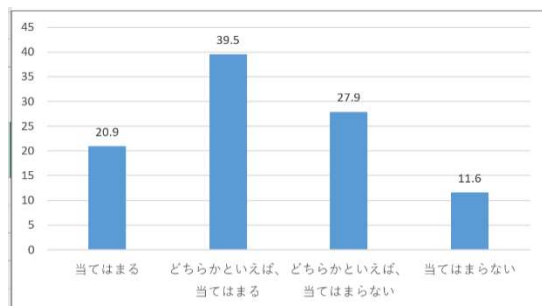
日頃から分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、探究的に自分で学び方を考え、工夫していく姿勢はとても大切です。これからも、子どもの興味関心を大切に、自分で取り組む力を育てていきましょう。



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

4 学校とご家庭で連携をとっていきましょう。

子どもが困りごとや不安があるときに、学校では先生に言えないこともあると思います。ご家庭でお子さんから相談を受けたり、いつもと違い心配な様子だったりするときには、担任や教育相談コーディネーター等にご相談ください。



困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

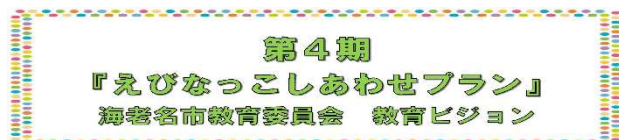
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919